

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	そら		
○保護者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 29
○従業者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・電車での外出や、飲食店での食事などを多く取り入れることで、利用者の生活力向上に繋がっていること	・安全かつ周囲の方にご迷惑をおかけしないように職員配置を多くしている。(利用者10名に対して職員6名) ・全利用者が外出活動に参加できるように計画している	・外出先の拡大(工場見学など)
2	・事業所の周囲は大きな歩道及び公園が多数整備されているので、散歩や外遊びの機会が多い	・安全かつ周囲の方にご迷惑をおかけしないように職員配置を多くしている。(利用者10名に対して職員6名) ・障がい特性を考慮した配置や遊び場所の選定	・ルールのある遊びの導入(鬼ごっこなど) ・体力向上に繋がる活動(ランニングなど) ・令和8年度は半数の児童が東葛生となるため、東葛生の平日の外遊びが難しくなるため、他の活動を充実させる必要がある
3	・兄弟児の学校行事等があれば優先的に受け入れることでの家族支援 ・レスパイト先として活用できるようにすることでの家族支援	・土曜日の固定定員の枠を少なくし、各家庭の事情を考慮した受け入れ体制の構築	・保護者との情報共有をより強化する

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者参加のイベントが年1回(クリスマス会)のみ	・保護者同士が交流や情報交換をする場が少ない ・準備に対する職員の負荷の大きさ	・定期的な茶話会などの開催 ・職員の業務を効率化し、時間を確保すること
2	・施設がバリアフリー化されていない	・肢体不自由の方の受け入れや活動に制限がある	・バリアフリー化に伴う費用 ・工事期間中の支援方法
3			